

和文投稿規定

(2014.4.1 改定)

< 主な改定内容 >

項目 4: 著作権規定

項目 6: 論文原稿の投稿先, 原稿ファイルの作成, 謝辞の投稿システムへの入力

1. 本誌の目的

本誌は、脳神経血管内治療およびそれに関連した神経科学の分野における最新の情報や技術を提供・共有する事を目的とします。

2. 論文内容

脳神経血管内治療の発展に貢献しうるオリジナリティーに富んだ論文を歓迎します。原著、総説、症例報告、テクニカルノート、Image of the issue を募集します。英文論文投稿は英語投稿規定に沿って下さい。投稿原稿は、本誌のみに投稿され、英語と日本語の別投稿も含め、二重投稿は許されません。

3. 論文審査

投稿論文の採否は編集委員会で決定いたします。場合により原稿の一部改正または訂正を求めることがあります。

4. 著作権

著者全員が以下の諸項を確認したうえで、投稿論文の著作権(著作権法第 27 条, 同第 28 条に定める権利を含む)は日本脳神経血管内治療学会へ譲渡されます。著者の同意確認は、オンライン投稿・査読システムの投稿画面で行ってください。また、論文投稿完了時に、システムから著者全員に投稿確認メールが送信されますので、各々必ず確認してください。

原著者が、論文・記事の全文または一部を複製、翻訳・翻案などの形で利用する場合、本会はこれを妨げません。ただし、全文を複製の形で他の著作物に利用する場合は、事前に本会へ申し出て承諾を得る必要があります。

- 1) 投稿論文は、過去に公開されたことがなく、他の出版物への公開予定もないこと。ただし、日本脳神経血管内治療学会総会などの本学会主催の会合にて発表されたものを除く。
- 2) 投稿論文が他の著作物を侵害していないこと。論文・

記事中において転載許諾が必要な部分については、その許諾を得ていること。

- 3) 投稿論文の内容について本質的な貢献を行った人はすべて著者に含まれていること。
- 4) 該当論文の内容の公開について、必要な場合は所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

5. 利益相反の開示

●投稿論文の内容に関して、「NPO 法人日本脳神経血管内治療学会医学研究の COI に関する指針」[「同細則」]に基づいて、共著者を含めた全著者の利益相反に関する開示が必要です。対象期間は、投稿日の 1 年前からの 1 年間とします。開示すべき内容は、学会ホームページ (<http://www.jsnet.umin.jp/>) の利益相反のページを参照して下さい。

(開示基準)

A. 申告者自身の申告事項

役員・顧問職	100 万円以上
株式	利益 100 万円以上又は全株式の 5%以上保有
特許使用料	100 万円以上
講演料など	100 万円以上
原稿料など	50 万円以上
研究費	200 万円以上
その他報酬	5 万円以上

B. 申告者の配偶者、一親等以内の親族、または収入財産を共有する者

役員・顧問職	100 万円以上
株式	利益 100 万円以上又は全株式の 5%以上保有
特許使用料	100 万円以上

●開示方法は、以下の記載例にしたがって、論文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載してください。

(記載例)

著者 A は、X 株式会社から研究資金の援助を受けている。

著者 B は、X 株式会社の社員である。

著者 C は、X 株式会社から講演料等の謝金を受けている。

筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

6. 原稿の体裁および論文の構成

●原稿はすべて、下記 URL のオンライン投稿・査読シス

テムから投稿してください。原稿を受領した場合には投稿受付確認メールが著者全員に自動送信されますので、必ず確認してください。

<http://mc.manuscriptcentral.com/jsnet>

ただし、2014年3月31日以前に電子メールで投稿を受け付けた論文は、オンライン投稿・査読システム稼働後も、採否確定まで電子メールで審査・再審査を行います。

- 和文論文の本文は、A4判で1行の文字数30字、1枚の行数24行として下さい。

英文論文の本文は、ダブルスペースで記載してください。

- 原稿は、以下の区分でファイルを分けてください。
 - ・タイトルページ：Word
 - ・本文(和文要旨～図・表の説明)：Word(ページ番号をつけてください。)

- ・Table：Word, Excel
- ・Figure：JPEG, TIFF
- ・Movie：MPEG, AVI等

- タイトルページには、以下の内容を和英併記で記載してください。英文論文の場合は英文のみで構構です。

- ・論文掲載形式の区分(原著、総説、症例報告、テクニカルノート、Image of the issue)
- ・題名
- ・著者名(筆頭著者、共著者)
- ・所属機関名
- ・筆頭著者の連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス)
- ・key words(5個以内)

また、最後に、『本論文を、日本脳神経血管内治療学会機関誌「Journal of NeuroendovascularTherapy(脳神経血管内治療)」に投稿するにあたり、筆頭著者、共著者によって、国内外の他雑誌に掲載ないし投稿されていないことを誓約致します。』と記載して下さい。本記載のないものは投稿を受け付けません。

- 本文は、和文要旨→本文→利益相反開示→文献→英文抄録→図・表の説明、の順に構成して下さい。引用文献や図・表を含め、著者名や所属機関名が判るような記載を避けて下さい。

▶要旨は、和文論文では、原著、総説で500字、症例報告、テクニカルノートで300字以内、として下さい。Image of the issueには不要です。形式は、目的、方法、結果、結論を項目毎に、簡潔明瞭に示し、新しく重要な知見を明らかにして下さい。症例報告、テクニカルノートも、目的、症例、結論の形式で記

載して下さい。

- ▶本文は、「緒言」、「対象と方法」ないし「症例呈示」、「結果」、「考察」および「結語」で構成し、必要に応じて末尾に研究費等を記載して下さい。
- ▶謝辞がある場合は、本文には記載せず、オンライン投稿・査読システム内に入力して下さい。
- ▶文献は項目7の要領に従って、総説50編以内、原著30編以内、症例報告およびテクニカルノート20編以内として下さい。
- 論文の区分と長さは以下の通りとし、本文、文献および図、表を含んだ長さとし、
 - ▶総説：編集委員会から執筆を依頼することもあります。本文、文献16,000字以内、刷上がり8頁まで
 - ▶原著：独創性に富み目的、結論等の明確な研究論文。本文、文献12,000字以内、刷上がり6頁まで
 - ▶症例報告：脳神経血管内治療に関連した興味深い1または2症例の短報。技術的側面の強いものはテクニカルノートに投稿する。本文、文献10,000字以内、刷上がり5頁まで
 - ▶テクニカルノート：新しい装置や治療器具、治療技術の開発など、主としてテクニカルな点を強調したもので、十分な臨床成績を積む前に報告する価値のある論文。本文、文献10,000字以内、刷上がり5頁まで
 - ▶Image of the issue：興味深い画像を示し、かつ教育的価値の高い症例の短報。4,000字、刷上がり2頁まで
 - ▶図・表は、1個あたり、1/4頁換算(和文で500字)とし、本文、文献の長さを減じて下さい。図・表の目安は総説10個以内、原著8個以内、症例報告およびテクニカルノート6個以内、Image of the issue4個以内所定枚数を超過した論文は原則として採用しませんが、編集委員会が認めた場合に限り、超過分掲載の実費を著者負担の上、掲載することがあります。
- 英文抄録の長さは、原著、総説で400語、症例報告、テクニカルノートで250語以内として下さい。Image of the issueには不要です。その形式は、objective(s)、method(s)、result(s)、conclusion(s)の項目毎に簡潔明瞭に記載して下さい。
- 英文抄録、図・表およびその説明および英文論文は予め医学論文の校正を専門とするnative speakerによる校正を必ず受けて下さい。
- 図・表の説明はすべて英文とし、表題と説明を記載して下さい。図はFigure 1, Figure 2... の順で、表はTable 1, Table 2... の順として、本文中の記載と一致

させて下さい。

- 数字は算用数字を用い、度量衡単位は CGS 単位で m, cm², mL, dL, g などとしてください。
- カテーテル、コイルなどのデバイスは、論文中の初出時に発売元を記載して下さい。和文論文では国内企業は日本語で、海外企業は英語で記載して下さい。なお、**別掲の表記例を参考にして下さい。**

(例)ED コイル -10(カネカメディクス, 大阪)→企業名, 所在都道府県名

GDC Ultrasoft (Stryker, Kalamazoo, MI, USA)→企業名, 都市名, 州名, 国名

- 原則として初出の英単語は略さずスペルアウトして下さい。2 回目以降は初出時に略語を併記した上で使用しても構いません。ただし、題名, key words, 要旨, 本文, 英文抄録, 図・表の説明, は独立したものとして扱い、それぞれの初出時にスペルアウトが必要です。なお、論文冒頭に略語一覧表を添付した場合、本文内でのスペルアウトを省略することができます。
- 以下の略語は慣用語としてスペルアウトせず略語を用いることを認めます。
CT, CTA, DSA, FLAIR, Gd, MRA, MRI, T1, T2, T2*, 3D

7. 文 献

文献の数は、必要最小限として下さい。登場順に番号をつけて列記してください。本文中の引用文献は片括弧で superscript の形式にして下さい。著者は3名までは全員を、3名以上の場合は3名までを記載し、他や et al. をつけて下さい。また、単行本の場合は編者の名を記入して下さい。

〈雑誌の場合〉

著者名：論文題名. 雑誌略名 発行年(西暦); 巻：ページ初 - 終.

外国誌は Index Medicus, 邦文誌は日本医学図書館協会編：日本医学雑誌略名表による略名をお使い下さい。

〈著書の場合〉

著者名：書名. 発行地, 発行所, 発行年(西暦).

著者名：題名. 編者名：書名. 版数, 発行地, 発行所, 発行年(西暦), 引用ページ初 - 終.

(例)

〈雑誌〉

Taki W, Handa H, Yamagata S, et al. Embolization and superselective angiography by means of ballooncatheters. Surg Neurol 1979; 12: 7-14.

〈著書〉

中原一郎；頭蓋内動脈狭窄症. 滝和郎監修, 中原一郎編：パーフェクトマスター脳血管内治療 必須知識のアップデート. 東京, メジカルビュー社, 2010, 296-306.

8. 図・表について

- 図は Figure 1, Figure 2, ... の順で、表は Table 1, Table 2, ... の順で構成し、本文中の記載および図・表の説明と一致させて下さい。
- 図は、JPEG, TIFF 形式で、図 1 個につきひとつのファイルで保存して下さい。本文中への挿入や PowerPoint 形式は受け付けません。解像度は、CT, MRI, 脳血管撮影などの画像の場合、300dpi 以上、描画された図の場合には、1200dpi 以上として下さい。図はオンラインでは無料でカラー掲載ですが、印刷でもカラー掲載を希望する場合は、掲載費用は著者の実費負担とします。
- CT, MRI は、頭部の右側が画像に向って左に、また脳血管撮影の側面像は、画像の向かって左が鼻側になるようにして下さい。3D 画像はその限りではありませんが、オリエンテーションがつくようにして下さい。
- 表は Word または Excel を用いて本文とは別に作製し、1 個につきひとつのファイルで保存して下さい。表は英文で作製し、タイトルをつけて、略語を使用した場合には表の下部にその内容を明示して下さい。また、画像データやテキストボックスを並べた表は不可です。

9. その他

著者校正は原則として 1 回行います。

著者には、掲載論文の別刷 30 冊を差し上げます。それ以上の別刷を希望する場合は 50 部単位で実費作製します。

問合せ先

JNET 編集室

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30

イタリア文化会館ビル 8F

(株)メディカルトリビューン 学術情報統括本部

TEL 03-3239-9376, FAX 03-3239-9375

Email: jnet@medical-tribune.co.jp

デバイスメーカー表記一覧

Balt Extrusion, Montmorency, France
Boston Scientific, Natick, MA, USA
Braun, Aesculap AG, Tuttingen, Germany
Codman & Shurtleff, Johnson & Johnson, Raynham, MA, USA
Concetric Medical, Mountain View, CA, USA
Cook Medical, Bloomington, IN, USA
Cordis, Johnson & Johnson, Fremont, CA, USA
eV3 Covidien, Irvine, CA, USA
eV3 Endovascular, Covidien, Plymouth, MN, USA
eV3 Neurovascular, Irvine, CA, USA
INVAtec, Roncadelle, ITALY
Johnson & Johnson, Miami, FL, USA
Medtronic, Minneapolis, MN, USA
Micro therapeutics, Natick, MA, USA
MicroVention TERUMO, Tustin, CA, USA
MTI-ev3, Irvine, CA, USA
St. Jude Medical, Minnetonka, MN
Stryker, Kalamazoo, MI, USA
Volcano, San Diego, CA, USA

朝日インテック, 愛知
カテックス, 大阪
カネカメディックス, 大阪
グッドマン, 愛知
ゼオンメディカル, 東京
テルモ・クリニカルサプライ, 岐阜
テルモ, 東京
東海メディカルプロダクツ, 愛知
メデイキット, 東京